

はじめに

本調査は、当金庫のお取引先のご協力により昭和50年7月から実施しているものです。四半期ごとに調査を行い、D.I.を中心として分析を行っています。

なお、当金庫では6種類の一般業種のほか、地域金融機関として地場産業に重点を置いた調査を行い、次の8業種を選定しております。

- ① 縫製業
- ② 電子部品・半導体製造業
- ③ 漆器業
- ④ 木材業
- ⑤ 建具業
- ⑥ 織布業
- ⑦ 繊維・雑品業
- ⑧ 観光業

今回の調査は、令和3年7月～9月期の業況実績と、令和3年10月～12月期の見通しについて、管内678先の事業所を対象に実施いたしました。

些かなりとも経営のお役に立てていただければ幸いです。

※D.I. (Diffusion Index) 拡張指数

不変部分を除いて増加（上昇）したとする企業と、減少（下降）したとする企業の全体に占める構成比のどちらの力が強いかを比べて、時系列的に景気のベクトルの傾向を見る方法です。

**** 目次 ****

1. 概況	1
2. 地区内の業況D.I.推移	2
3. 一般業種の業況	
(1) 製造業	3
(2) 卸売業	4
(3) 小売業	5
(4) サービス業	6
(5) 建設業	7
(6) 不動産業	8
4. 地場産業の業況	
(1) 能登地区の縫製業	9
(2) 能登地区の電子部品 ・半導体製造業	10
(3) 能登地区の漆器業	11
(4) 能登地区の木材業	12
(5) 能登地区の建具業	13
(6) 能登地区の織布業	14
(7) 能登地区の繊維・雑品業	15
(8) 能登地区の観光業	16
5. 経済指標	17～18
6. 特別調査	
中小企業の雇用環境について	19

(注) 令和3年7月～9月を今期、令和3年4月～6月を前期、令和3年10月～12月を来期という、以下同じ。

調査対象企業の業種別先数および有効回答数

	依頼先	有効回答数	回答率 (%)	構成比 (%)
製造業	203	190	93.6	30.4
卸売業	29	28	96.6	4.5
小売業	200	180	90.0	28.8
サービス業	120	113	94.2	18.1
建設業	97	88	90.7	14.1
不動産業	29	26	89.7	4.1
合計	678	625	92.2	100.0

◇◆◇ 概 況 ◇◆◇

《 2021 年 7 月～9 月》

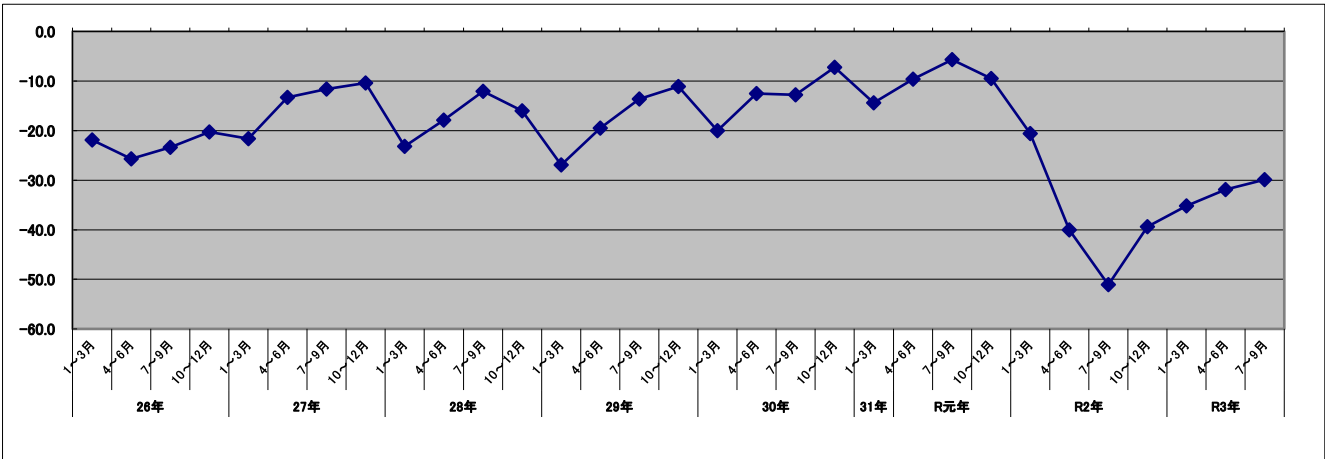
令和 3 年 9 月末現在、各自治体主導で接種が行われているコロナワクチンについては、一回目の接種を終えた 12 歳から 49 歳の割合が 6 割を超える見込みで、二回目の接種を終えた割合では、50 代が 7 割弱、40 代も 5 割以上になる見込み。ワクチン接種により感染リスクや重症化リスクが大幅に低下する研究結果が出ており、県は接種可能な全年代で、10 月末に 1 回目のワクチン接種完了、11 月末に 2 回目のワクチンの接種完了を目指している。新型コロナウイルス新規感染者の推移は、7 月 28 日に通算で最も多い 119 名を数え、7 月 30 日に 110 名、8 月 4 日は 118 名であったが、それ以降は減少が続いており、9 月 28 日には「ステージ 2（感染拡大注意報）」に警戒レベルを下げ、新規感染者数も 12 人になった。石川県内において新型コロナウイルスの第五波は沈静化に向かっていると言える。

こうした中、当金庫営業地区の今期（令和 3 年 4 月～6 月）業況 D.I. は、△29.9（前期△31.9）と前期比で 2.0 ポイント改善した。地区内全般では、製造業、卸売業、サービス業、建設業は改善し、イベントや人の動きが少なかったことで小売業、不動産業は悪化した。ステイホームの状況が続き、地場産業では縫製業、木材業、繊維・雑品業、家庭用の手芸用品の売上が伸びた織布業は引き続き改善し、国内観光客の動きが徐々に戻ったことで観光業も前期に続き改善した。自動車の減産や生産調整を受けた電子部品・半導体製造業は下げ止まりで横這い、需要が伸び悩んだ建具業は悪化が続いている。コロナウイルスの第五波が沈静化に向かっていることで、経済活動の改善が少しずつ見られ始めている。北陸経済の現状としては、個人消費は前期に引き続き改善し、設備投資も緩やかに持ち直している。住宅投資は下げ止まり、雇用も緩やかに持ち直している。総合的に厳しい状況が続いているが、徐々に改善の兆しは見られる。現状を受けて、9 月 30 日までで金沢市、白山市、野々市市に発出されている飲食店への営業時間の時短要請や県独自の要請等と飲食店に対する協力金が終了し、兼六園・いしかわ動物園・のとじま水族館など臨時休園・休館している集客施設は準備が整い次第、10 月 1 日から順次開園・開館する。ステージ 2 以下の感染状況が続けば、「Go To イートプレミアム」と「県民旅行割」が 10 月 8 日から再開される予定であり、10 月 31 日には金沢マラソンが開催予定で県内外から人の流入・流出も増える。

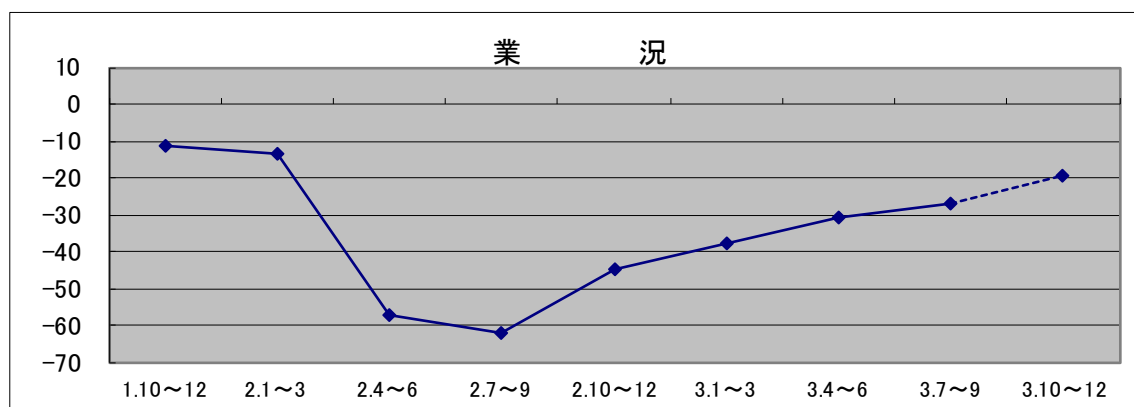
全体的に沈静化へと進んでいるコロナウイルスであるが、来期は冬の時期を迎えるにあたり、コロナの第六波の発生やインフルエンザの流行の恐れがある。現在、12 歳未満の子供にはワクチン接種が行われていないことから、今後低年齢へのコロナ感染拡大などが心配される。日常的にできる予防策である 3 密を避けること、適切なマスクの着用や手洗いの徹底をしっかりと行い、クリスマスや年末年始に一家団欒の時間を過ごせるようにしたいものである。

地区内の業況D. I. 推移

年	期間	業況D. I.	年	期間	業況D. I.
H26年	1~3月	△ 21.9	H30年	1~3月	△ 20.0
	4~6月	△ 25.7		4~6月	△ 12.5
	7~9月	△ 23.4		7~9月	△ 12.8
	10~12月	△ 20.3		10~12月	△ 7.2
H27年	1~3月	△ 21.6	H31年	1~3月	△ 14.4
	4~6月	△ 13.3	R元年	4~6月	△ 9.6
	7~9月	△ 11.6		7~9月	△ 5.7
	10~12月	△ 10.4		10~12月	△ 9.5
H28年	1~3月	△ 23.2	R2年	1~3月	△ 20.6
	4~6月	△ 17.9		4~6月	△ 40.0
	7~9月	△ 12.1		7~9月	△ 51.1
	10~12月	△ 16.0		10~12月	△ 39.4
H29年	1~3月	△ 26.9	R3年	1~3月	△ 35.2
	4~6月	△ 19.5		4~6月	△ 31.9
	7~9月	△ 13.6		7~9月	△ 29.9
	10~12月	△ 11.1		10~12月	



製造業



【概 況】

今期（R 3.7月～9月）の業況D.I.は、△26.8（前期△31.0）と改善した。各項目については、売上・収益・資金繰りが改善、人手が横這い、設備は悪化した。業種別では、縫製業、織布業、繊維雑品業が改善、電子部品・半導体業は横這い、建具業は悪化した。第五波が収束に向かっている中、全体的には改善したといえよう。

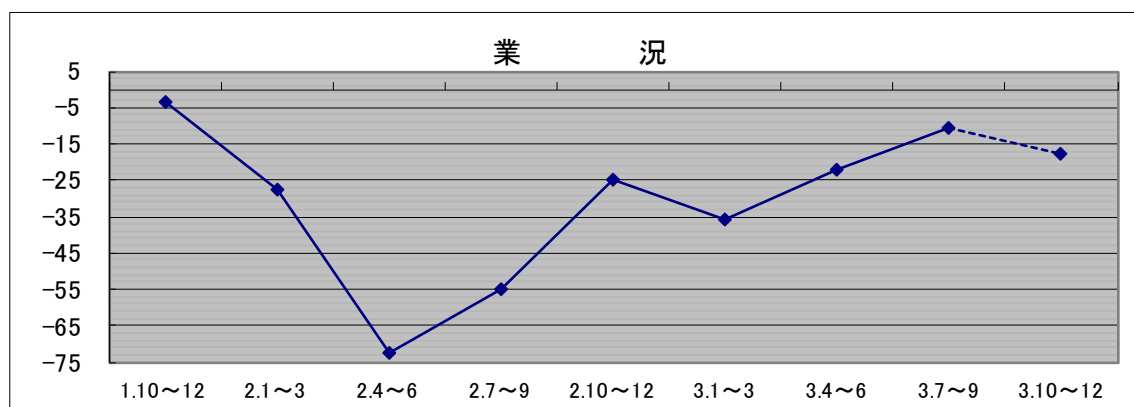
来期（R 3.10月～12月）業況D.I.は、△19.5と回復基調を保つと予想、他項目についても大幅な改善や悪化を予想しておらず、概ね現状維持を予想している。

《業績判断D.I.の推移》

	令和元年	令和2年				令和3年				見通し
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
業 況	△11.3	△13.7	△57.4	△62.1	△44.8	△37.7	△31.0	△26.8	△19.5	
売 上	△3.6	△15.8	△61.6	△40.5	△18.8	△38.2	△29.4	△19.5	△14.2	
収 益	△8.8	△16.3	△59.5	△38.9	△20.8	△38.7	△28.9	△13.7	△14.7	
資金繰り	△11.3	△8.4	△37.4	△19.5	△14.6	△13.6	△15.5	△7.9	△5.8	
人 手	△8.2	△6.8	△2.1	1.6	△2.6	△3.7	△3.2	△3.2	△5.3	
設 備	△5.2	△3.7	△5.3	△4.7	△2.1	△2.6	1.1	△2.6	△3.7	

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	19.6%	提携先を見つける	29.8%
輸入製品との競争の激化	13.9%	販路を広げる	19.9%
人件費の増加	11.3%	経費を節減する	16.5%

卸売業



【概 況】

今期（R 3.7月～9月）業況D.I.は、△10.7と前期に比べ改善を示した。海産物は悪化、青果物、菓子、雑貨、贈答品等は全体的に横這い。衣料品はやや改善を見せた。業界全体では売上、仕入価格は改善されるも、収益、在庫、資金繰りは悪化した。

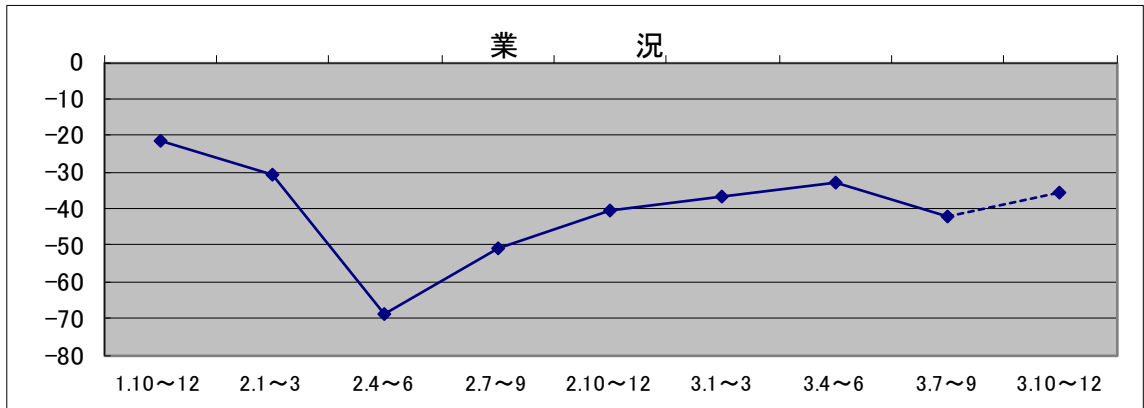
来期（R 3.10月～12月）業況D.I.は、△17.9とやや悪化を予想。在庫は横這いで売上、収益、資金繰りは改善するが、仕入価格は悪化を予想。

《業績判断D.I.の推移》

	令和元年	令和2年				令和3年			見通し
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
業 況	△3.4	△27.6	△72.4	△55.2	△25.0	△35.7	△22.2	△10.7	△17.9
売 上	△3.4	△27.6	△65.5	△51.7	△17.9	△53.6	△25.9	△21.4	△14.3
収 益	0.0	△27.6	△65.5	△48.3	△14.3	△50.0	△18.5	△25.0	△21.4
仕入価格	△6.9	6.9	0.0	△3.4	0.0	△14.3	11.1	21.4	7.1
在 庫	3.4	0.0	△3.4	△6.9	△10.7	△3.6	△3.7	△14.3	△14.3
資金繰り	3.4	△6.9	△51.7	△24.1	△21.4	△21.4	△22.2	△14.3	△10.7

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	18.8%	提携先を見つける	23.3%
合理化の不足	16.7%	販路を広げる	18.3%
同業者間の競争の激化	14.6%	経費を削減する	18.3%

小売業



【概況】

今期（R 3.7月～9月）の業況D.I.は、△42.2（前期△33.1）と悪化を示した。特に原油価格の高騰によるガソリンの価格の値上がりが続いており、物流やタクシー業界などの他業種へも連鎖的な影響が出る可能性がある。

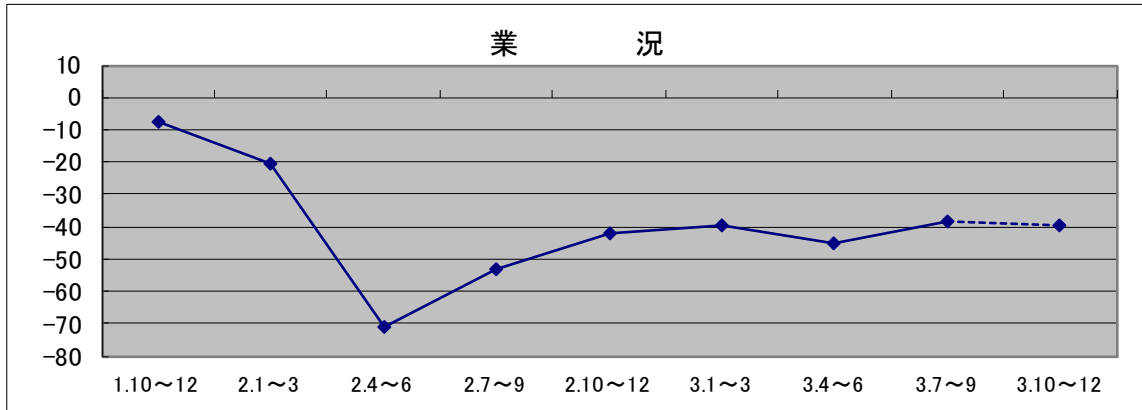
来期（R 3.10月～12月）業況D.I.については△35.6と改善を予想。人の動きの多い年末商戦で売上を伸ばし、業況を改善したい狙い。

《業績判断D.I.の推移》

	令和元年	令和2年				令和3年				見通し
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
業況	△21.5	△30.5	△69.1	△51.1	△40.8	△36.7	△33.1	△42.2	△35.6	
売上	△16.9	△27.8	△63.9	△25.5	△30.4	△36.2	△30.9	△34.4	△18.9	
収益	△16.9	△27.3	△63.9	△23.4	△29.9	△34.0	△29.8	△34.4	△19.4	
販売価格	△7.7	△4.3	△9.9	△0.5	△7.6	△2.1	△2.2	△2.8	△2.8	
在庫	11.8	4.3	3.7	1.6	△4.3	0.5	0.0	△0.6	△1.1	
資金繰り	2.6	△14.4	△25.1	△12.0	△8.7	△11.2	△12.9	△12.8	△8.3	

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	18.3%	仕入先を開拓・選別する	29.2%
地価の高騰	14.0%	経費を削減する	21.5%
商圈人口の減少	11.7%	宣伝・広告を強化する	12.5%

サービス業



【概 況】

今期（R 3.7月～9月）業況D.I.は、依然まん延防止等重点措置や時短営業などの継続の中、△38.1（前期△45.1）と改善した。各種イベント等の開催も増加傾向である。石川県では9月末をもって、まん延防止等重点措置や時短営業を解除する方向で検討しており、解除後に人流が戻ることで業況は改善するとみられるが、楽観視はできない。

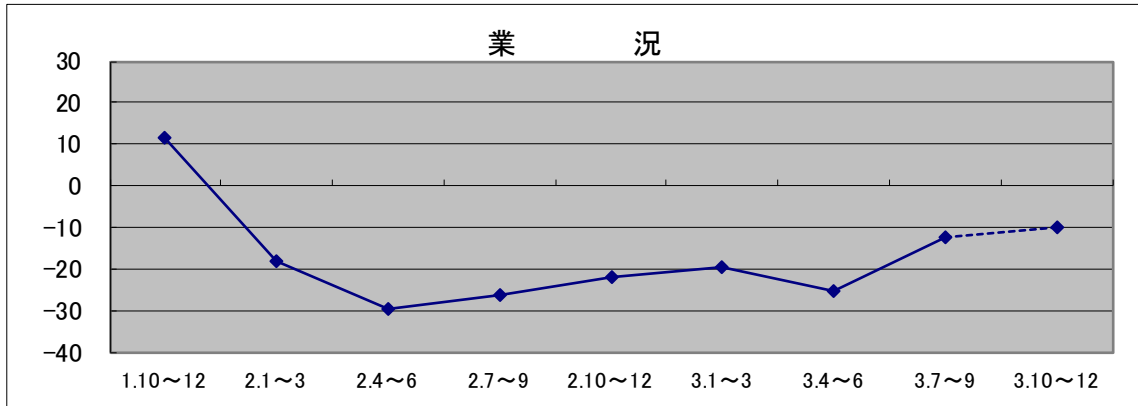
新型コロナウイルス第六波やインフルエンザ流行危惧のためか、来期（R 3.10月～12月）の業況D.I.は△39.8と悪化を予想している。

《業績判断D.I.の推移》

	令和元年	令和2年				令和3年			見通し
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
業 況	△7.8	△20.5	△71.2	△53.4	△42.1	△39.8	△45.1	△38.1	△39.8
売 上	△9.5	△23.9	△70.3	△35.3	△32.5	△31.9	△46.0	△32.7	△22.1
収 益	△11.2	△23.9	△68.5	△34.5	△31.6	△31.0	△41.6	△31.0	△22.1
料金価格	5.2	1.7	△6.3	△1.7	△7.9	△3.5	△3.5	△8.8	△9.7
資金繰り	△10.3	△16.2	△39.6	△20.7	△17.5	△17.7	△14.2	△21.2	△23.0
設 備	△5.2	△3.4	△1.8	△1.7	△1.8	△5.3	△1.8	△3.5	△4.4

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	21.8%	提携先を見つける	29.7%
利幅の縮小	20.2%	経費を節減する	20.3%
同業者間の競争の激化	12.6%	宣伝・広告を強化する	13.4%

建設業



【概 況】

今期（R 3.7月～9月）の業況D.I.は、 $\Delta 12.5$ （前期 $\Delta 25.3$ ）と改善を示した。民間工事や一般住宅建設はやや動きがあるも、「ウッドショック」の影響により、新築戸建住宅は下げ止まっている状況である。新築住宅に使用される材料の7割近くを輸入材が占めており、欧州の外材は3ヶ月単位で値決めが行われている。12月以降分の輸入材の価格交渉も9月に行われたが、依然価格は高水準であり業界では少なくとも来年3月頃まで高水準は続くとの見解も出ている。

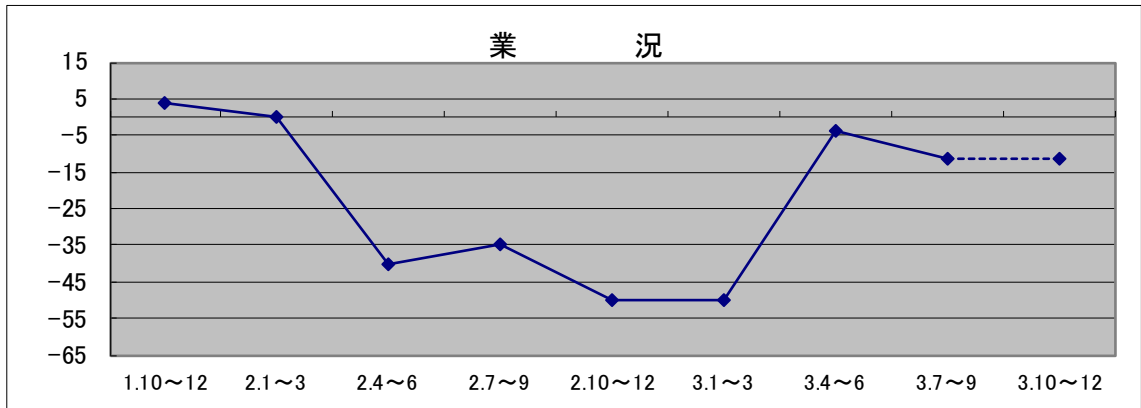
来期（R 3.10月～12月）の業況D.I.は、 $\Delta 10.2$ と改善を予想しているが、根本的な価格の改善には、国内の木材流通量と材料価格が適正に戻ることが必須条件であり、厳しい状況が続いている。

《業績判断D.I.の推移》

	令和元年	令和2年			令和3年			見通し	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
業 況	11.7	$\Delta 18.2$	$\Delta 29.9$	$\Delta 26.5$	$\Delta 22.1$	$\Delta 19.8$	$\Delta 25.3$	$\Delta 12.5$	$\Delta 10.2$
売 上	13.8	$\Delta 20.5$	$\Delta 46.0$	$\Delta 15.7$	$\Delta 16.3$	$\Delta 22.1$	$\Delta 19.5$	$\Delta 6.8$	$\Delta 5.7$
収 益	10.6	$\Delta 11.4$	$\Delta 43.7$	$\Delta 10.8$	$\Delta 10.5$	$\Delta 12.8$	$\Delta 13.8$	$\Delta 6.8$	$\Delta 6.8$
請負価格	2.1	$\Delta 4.5$	$\Delta 19.5$	$\Delta 3.6$	$\Delta 9.3$	$\Delta 7.0$	$\Delta 12.6$	$\Delta 5.7$	$\Delta 4.5$
資金繰り	11.7	$\Delta 13.6$	$\Delta 24.1$	$\Delta 6.0$	$\Delta 10.5$	$\Delta 15.1$	$\Delta 10.3$	$\Delta 9.1$	$\Delta 5.7$
人 手	$\Delta 25.5$	$\Delta 12.5$	$\Delta 11.5$	$\Delta 7.2$	$\Delta 12.8$	$\Delta 14.0$	$\Delta 6.9$	$\Delta 8.0$	$\Delta 10.2$

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
人件費以外の経費の増加	18.8%	技術力を高める	23.5%
売上の停滞・減少	15.0%	経費を節減する	21.3%
合理化の不足	12.5%	情報力を強化する	10.9%

不動産業



【概 況】

今期（R 3.7月～9月）の業況D.I.は、 $\Delta 11.5$ （前期 $\Delta 4.0$ ）となり、前期に改善した反動で若干悪化したとみられる。売上は悪化するも、業況、売上以外の数値は改善した。住宅メーカー主催の各種イベントやモデルハウスの見学等も徐々に開催数が増えてきているが、全体的に動きは鈍い。

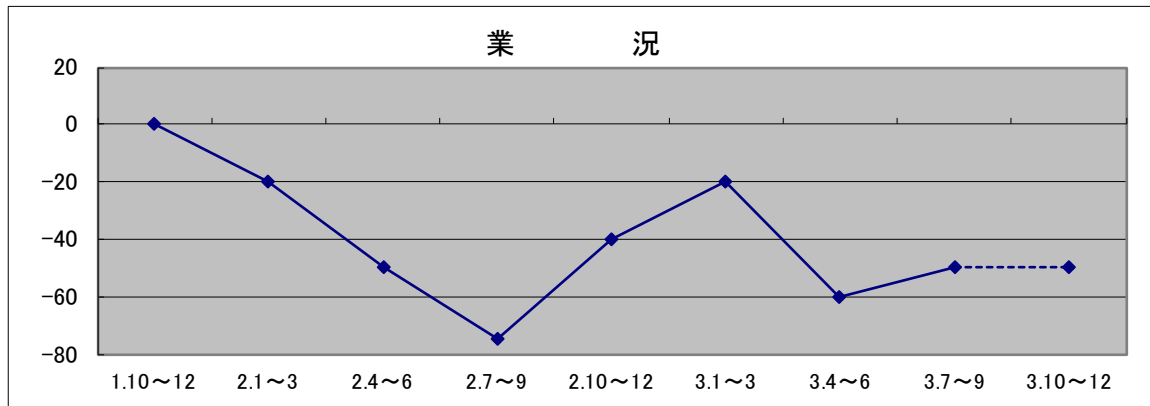
来期（R 3.10月～12月）業況D.I.は、 $\Delta 11.5$ と横這いを予想し、収益以外の数値は横這いか改善を予想している。

《業績判断D.I.の推移》

	令和元年	令和2年				令和3年			見通し
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
業 況	3.7	0.0	$\Delta 40.0$	$\Delta 34.6$	$\Delta 50.0$	$\Delta 36.0$	$\Delta 4.0$	$\Delta 11.5$	$\Delta 11.5$
売 上	3.7	3.8	$\Delta 36.0$	$\Delta 34.6$	$\Delta 34.6$	$\Delta 36.0$	$\Delta 4.0$	$\Delta 19.2$	$\Delta 19.2$
収 益	3.7	3.8	$\Delta 36.0$	$\Delta 34.6$	$\Delta 34.6$	$\Delta 36.0$	$\Delta 8.0$	$\Delta 7.7$	$\Delta 11.5$
販売価格	3.7	3.8	$\Delta 4.0$	$\Delta 19.2$	$\Delta 7.7$	$\Delta 16.0$	$\Delta 8.0$	$\Delta 3.8$	3.8
在 庫	11.1	0.0	$\Delta 8.0$	$\Delta 3.8$	$\Delta 3.8$	$\Delta 4.0$	$\Delta 16.0$	$\Delta 7.7$	$\Delta 3.8$
資金繰り	$\Delta 3.7$	$\Delta 7.7$	$\Delta 24.0$	$\Delta 7.7$	$\Delta 19.2$	$\Delta 16.0$	$\Delta 12.0$	$\Delta 7.7$	$\Delta 7.7$

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
同業者間の競争の激化	37.9%	宣伝・広告を強化する	16.9%
大手企業との競争の激化	24.1%	提携先を見つける	16.9%
売上の停滞・減少	17.2%	経費を節減する	13.8%

能登地区の縫製業



【概 況】

今期（R 3.7月～9月）の業況D.I.は、前期の予想通り、△50.0と改善した。コロナウイルスの第五波が収束に向かっていることで人手を除き、全体的に改善したと考えられる。

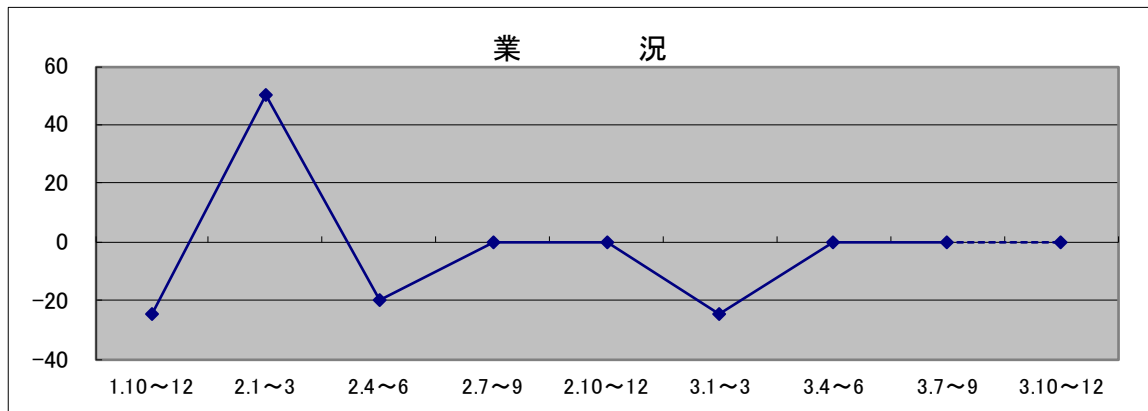
来期（R 3.10月～12月）はコロナ第五波の収束が予想されるが、インフルエンザの流行やコロナの第六波発生の恐れのためか、例年であれば繁忙期であるが、全ての数値で横這いを予想している。未だ先行き不透明な状況が続く。

《業績判断D.I.の推移》

	令和元年	令和2年				令和3年				見通し
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
業 況	0.0	△20.0	△50.0	△75.0	△40.0	△20.0	△60.0	△50.0	△50.0	
売 上	20.0	△20.0	△75.0	△25.0	20.0	0.0	△60.0	0.0	0.0	
収 益	0.0	△20.0	△75.0	△25.0	0.0	△20.0	△60.0	0.0	0.0	
資金繰り	0.0	0.0	△25.0	△25.0	0.0	0.0	△20.0	0.0	0.0	
人 手	0.0	△20.0	0.0	△25.0	0.0	△40.0	20.0	0.0	0.0	
設 備	0.0	△20.0	△25.0	0.0	0.0	△20.0	0.0	0.0	0.0	

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
輸入製品との競争の激化	25.0%	販路を広げる	18.2%
売上の停滞・減少	18.8%	新製品・技術を開発する	18.2%
同業者間の競争の激化	6.3%	経費を節減する	9.1%

能登地区の電子部品・半導体製造業



【概 況】

今期（R 3.7月～9月）業況D.I.は、0.0と横這い。電子端末や通信基地局に必要な半導体需要の高まりは世界的規模で続いている。需給の逼迫から自動車の生産調整・減産体制も続いており、トヨタ、ダイハツ、スバルなどが国内工場の10月の稼働停止日を発表している。消費者側の需要の高まりに対して供給が追いついていない状況である。売上は改善を示したのに対し、価格の高騰が治まったことで収益が悪化した。

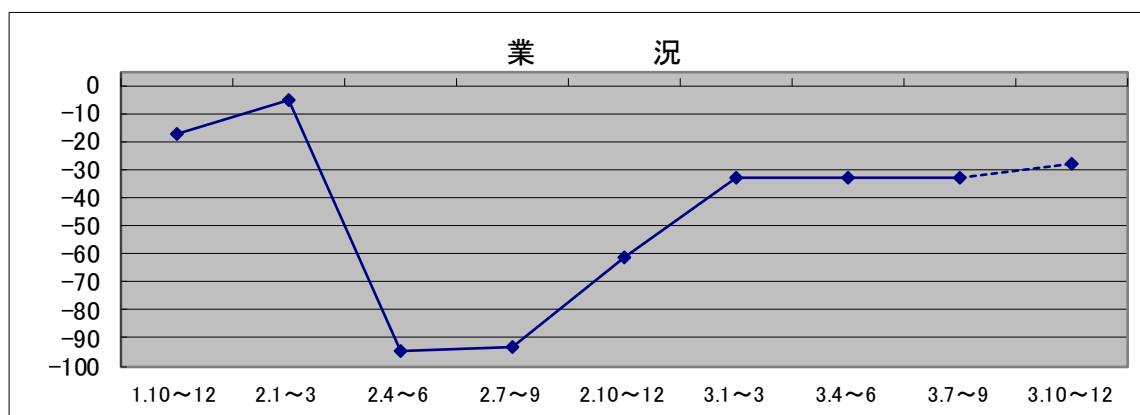
来期（R 3.10月～12月）、業況D.I.は横這いを予想している。依然半導体不足の解消時期は不透明で、次年度以降になる可能性もある。売上・収益・設備は悪化の見込み。資金繰り・人手は横這いになる見通し。

《業績判断D.I.の推移》

	令和元年	令和2年				令和3年				見通し
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
業 況	△25.0	50.0	△20.0	0.0	0.0	△25.0	0.0	0.0	0.0	
売 上	25.0	50.0	△20.0	0.0	40.0	△25.0	△50.0	0.0	△33.3	
収 益	0.0	50.0	△40.0	0.0	40.0	△25.0	50.0	0.0	△33.3	
資金繰り	△25.0	0.0	△40.0	△33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
人 手	25.0	△50.0	△20.0	0.0	△20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
設 備	△25.0	0.0	0.0	△33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	△33.3	

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
利幅の縮小	25.0%	経費を節減する	14.3%
原材料高	25.0%	提携先を見つける	14.3%
人件費の増加	25.0%	機械化を推進する	14.3%

能登地区の漆器業



【概 況】

今期業況D.I.は、前期、前々期に引き続き△33.3と横這いであり、緊急事態宣言・まん延防止等重点措置による影響は続いている。売上・収益については改善しているが、資金繰りは悪化しており全体的に業況は厳しい。コロナ第五波が収束に向かっている状況を受けて、石川県は9月末でまん延防止等重点措置を解除予定。

他都道府県においても、感染者数の減少に伴い、緊急事態宣言・まん延防止等重点措置のいずれも順次解除に向かっている。しかしインバウンドについては、一部の例外を除いて国境をまたぐ往来が停止されている。

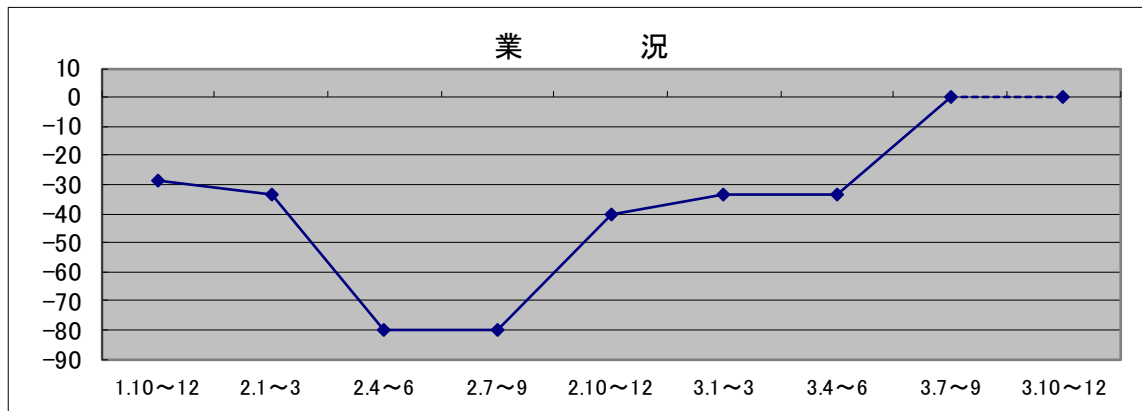
来期（R3.10月～12月）はコロナ第六波とインフルエンザの流行が懸念されるが、秋以降に首都圏のデパートでの催事に出展を予定している業者が多いことから、業況D.I.をはじめ、人手以外の項目で改善もしくは現状維持を予想している。

《業績判断D.I.の推移》

	令和元年	令和2年				令和3年			見通し
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
業 況	△17.6	△5.6	△94.4	△93.3	△61.1	△33.3	△33.3	△33.3	△27.8
売 上	△5.6	△5.6	△88.9	△46.7	△33.3	△33.3	△44.4	△33.3	△33.3
収 益	△5.6	△5.6	△88.9	△53.3	△33.3	△33.3	△38.9	△27.8	△27.8
資金繰り	△11.1	△11.1	△61.1	△20.0	△38.9	△22.2	△16.7	△27.8	△27.8
人 手	5.6	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0	5.6	5.6	0.0
設 備	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
地場産業の衰退	19.7%	提携先を見つける	32.1%
売上の停滞・減少	18.2%	販路を広げる	26.4%
輸入製品との競争の激化	13.6%	経費を節減する	17.0%

能登地区の木材業



【概 況】

今期（R 3.7月～9月）業況D.I.は、0.0と改善した。売上・収益は同じく改善し、人手・設備は横這い。資金繰りは悪化している。「ウッドショック」の影響はやや収まり、競合する輸入材の入荷は増加したが、依然木材価格の高騰は続いている状況である。

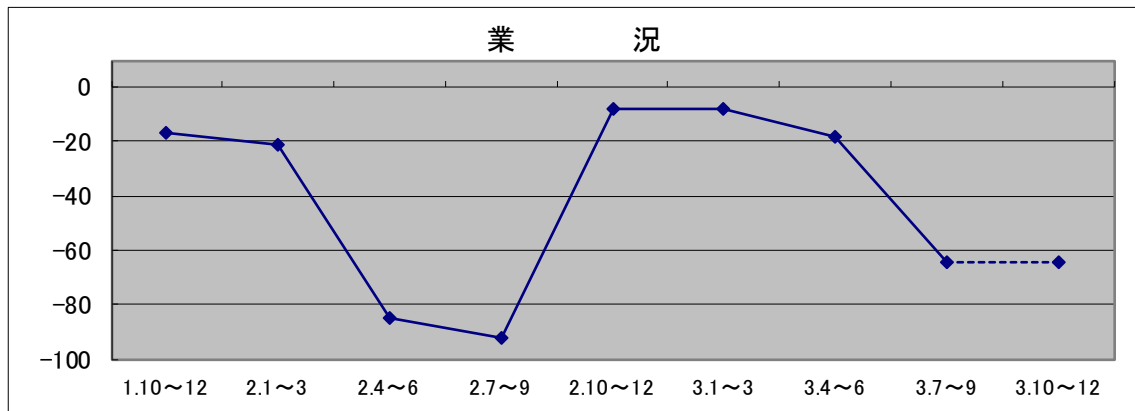
来期は業況をはじめ、売上を除いた全ての項目で横這いを予測。現状維持との見方をしている。経営上の問題点として「売上の停滞・減少」が一位となり、続いて「輸入製品との競争の激化」と並んで「合理化の不足」が同率となった。「ウッドショック」によって、国内の木材自給率が低いことやサプライチェーンの脆弱性が浮き彫りとなったことで合理化が必要であるとの見方が強まったためと考えられる。

《業績判断D.I.の推移》

	令和元年	令和2年				令和3年				見通し
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
業 況	△28.6	△33.3	△80.0	△80.0	△40.0	△33.3	△33.3	0.0	0.0	
売 上	△28.6	△33.3	△80.0	△80.0	△40.0	△50.0	△50.0	△40.0	△20.0	
収 益	△28.6	△33.3	△80.0	△80.0	△40.0	△50.0	△50.0	△20.0	△20.0	
資金繰り	△28.6	△16.7	△60.0	△20.0	△40.0	△33.3	△16.7	△20.0	△20.0	
人 手	△14.3	0.0	△20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
設 備	0.0	△16.7	△50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	22.2%	提携先を見つける	27.3%
輸入品との競争の激化	11.1%	販路を広げる	18.2%
合理化の不足	11.1%	経費を節減する	9.1%

能登地区の建具業



【概 況】

今期（R 3.7月～9月）の業況D.I.は、△64.3と悪化、売上・収益についても悪化した。前期は例年であれば建築シーズンで改善を見せる時期でありながら、ウッドショックなどの要因も重なり需要が伸びなかった。コロナ第五波が収束の様相を見せているが、今後第六波が発生する恐れもあり、更なる景気悪化の可能性もある。

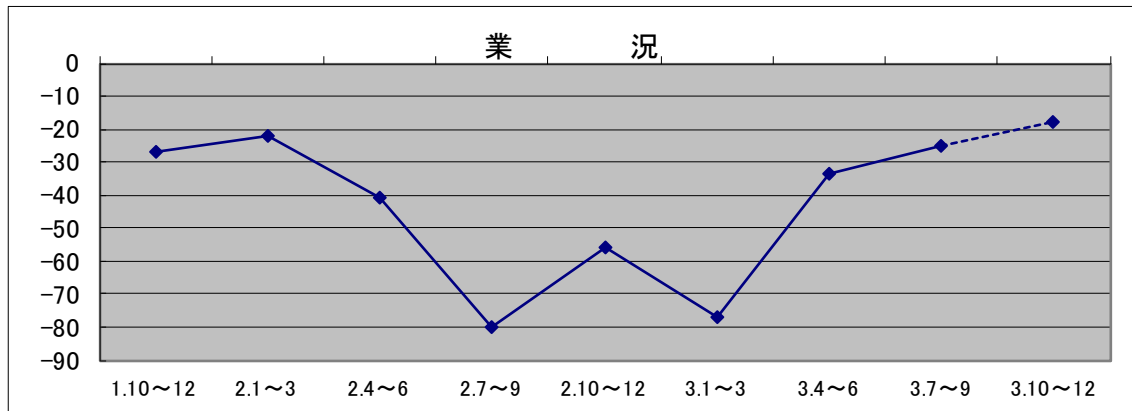
来期（R 3.10月～12月）の業況D.I.は△64.3と横這いを予想、業況・設備以外の数値は悪化すると予想している。

《業績判断D.I.の推移》

	令和元年	令和2年				令和3年				見通し
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
業 況	△16.7	△21.4	△84.6	△92.3	△7.7	△7.7	△18.2	△64.3	△64.3	
売 上	△16.7	△21.4	△84.6	△7.7	0.0	0.0	△9.1	△50.0	△64.3	
収 益	△16.7	△21.4	△84.6	△7.7	0.0	0.0	△27.3	△42.9	△57.1	
資金繰り	0.0	0.0	△76.9	△7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	△7.1	
人 手	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△7.1	
設 備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	14.3%	提携先を見つける	14.3%
輸入製品との競争の激化	14.3%	販路を広げる	10.5%
合理化の不足	4.8%	経費を節減する	10.5%

能登地区の織布業



【概 況】

今期（R 3.7月～9月）業況D.I.は、前期に引き続き△25.0（前期△33.3）と改善を示した。売上・収益・資金繰り・人手は改善し、全体的に改善傾向となった。家庭用の手芸用品の売れ行きが伸びているが、特殊製品では、車のタイミングベルトの裏地などが自動車の減産等によって受注減の状況が続いている。

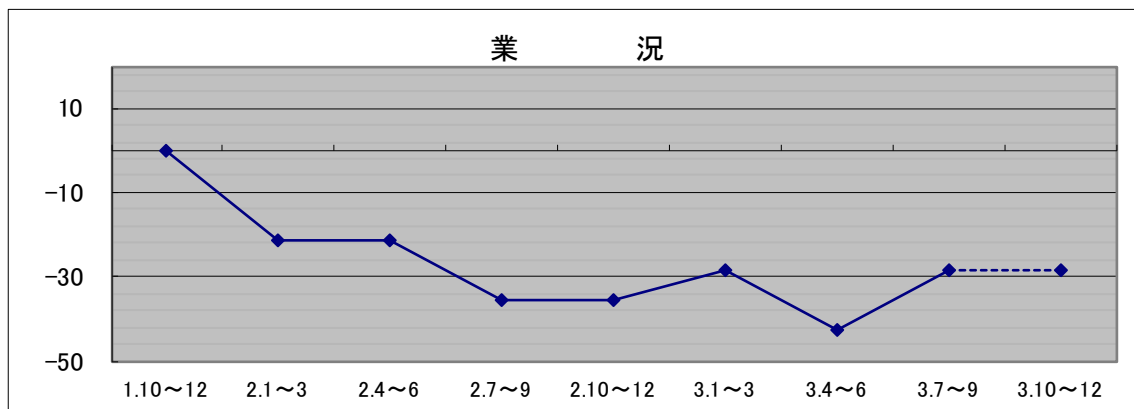
来期（R 3.10月～12月）は売上・収益・資金繰り、業況D.I.も改善するとの見通しをたてているが、不安定な状況が続いており、今後も動向に注視が必要である。

《業績判断D.I.の推移》

	令和元年	令和2年				令和3年				見通し
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
業 況	△26.9	△22.2	△40.7	△80.0	△55.6	△76.9	△33.3	△25.0	△17.9	
売 上	△19.2	△22.2	△48.1	△64.0	△29.6	△65.1	△29.6	△10.7	△10.7	
収 益	△19.2	△18.5	△48.1	△60.0	△29.6	△69.2	△25.9	△3.6	△14.3	
資金繰り	△15.4	△11.1	△22.2	△24.0	△14.8	△11.5	△14.8	0.0	△3.6	
人 手	△11.5	△11.1	0.0	0.0	△7.4	7.7	△3.7	0.0	0.0	
設 備	△7.7	△7.4	△7.4	△4.0	3.7	0.0	3.7	0.0	0.0	

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	22.2%	提携先を見つける	36.6%
人件費の増加	17.3%	販路を広げる	23.2%
工場・機械の狭小・老朽化	16.0%	経費を節減する	15.9%

能登地区の繊維・雑品業



【概 況】

今期（R 3.7月～9月）業況D.I.は、横這いを予想していたが、△28.6と改善を示した。売上と収益は改善、資金繰り・人手・設備は横這いを示した。今期はアパレル関係やマスクゴム紐の需要が落ち着いた状況となっている。

前期に経営上の問題点として「大手企業との競争の激化」が挙がっていたが、今期は「人件費の増加」が入れ替わった。

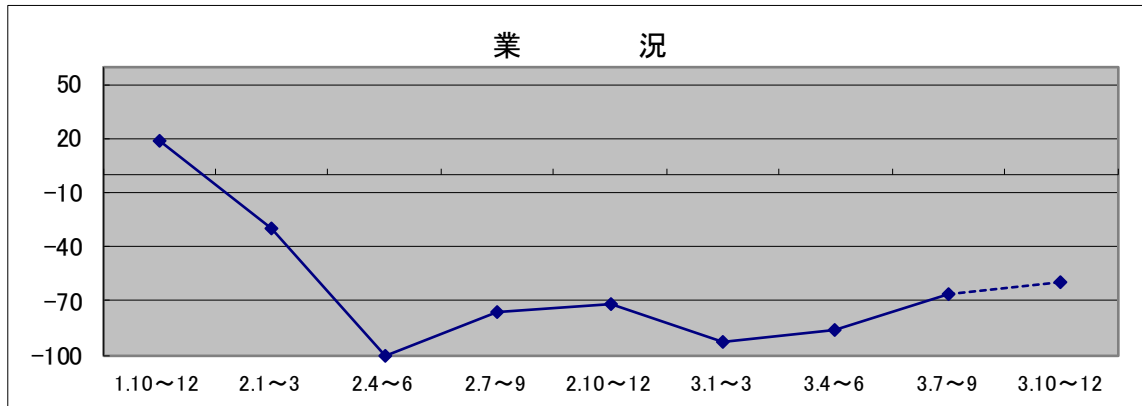
来期（R 3.10月～12月）は季節商品の需要が伸びる時期であるが、コロナ第六波の発生で外出自粛等により伸び悩む可能性もあることから、業況D.I.を含め、各項目についても全て横這いを予想している。

	令和元年	令和2年				令和3年			見通し
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
業 況	0.0	△21.4	△21.4	△35.7	△35.7	△28.6	△42.9	△28.6	△28.6
売 上	△7.1	△28.6	△21.4	△21.4	△21.4	△21.4	△42.9	△28.6	△28.6
収 益	0.0	△21.4	△21.4	△21.4	△21.4	△21.4	△42.9	△28.6	△28.6
資金繰り	△7.1	△7.1	△7.1	△14.3	0.0	△14.3	0.0	0.0	0.0
人 手	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	△21.4	0.0	0.0	0.0
設 備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

《業績判断D.I.の推移》

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
輸入製品との競争の激化	20.5%	提携先を見つける	26.3%
売上の停滞・減少	18.2%	販路を広げる	18.4%
人件費の増加	11.4%	経費を節減する	18.4%

能登地区の観光業



【概 況】

今期（R 3.7月～9月）業況D.I.は前期（R 3.4月～6月）の△85.7から△66.7と改善を示した。国内観光客の動きは改善してきているが、海外観光客の入国制限が未だ続いている。入込客・宿泊客・朝市客は改善してきており、都市部では販売イベントも開催されているが、まだコロナ禍以前水準には遠く、厳しい業況が続いている。

来期（R 3.10月～12月）においては、料金価格以外の項目で改善を予想している。また、冬のシーズンで人出が伸び悩む時期であるが、各種イベントの開催予定もあり、次期業況D.I.は△60.0と改善を予想している。

《業績判断D.I.の推移》

	令和元年	令和2年				令和3年				見通し
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
業 況	18.8	△29.4	△100.0	△76.5	△71.4	△92.9	△85.7	△66.7	△60.0	
売 上	△6.2	△35.3	△100.0	△11.8	△57.1	△92.9	△78.6	△40.0	△6.7	
収 益	△6.2	△35.3	△100.0	△11.8	△57.1	△92.9	△78.6	△40.0	△6.7	
料金価格	0.0	5.9	△13.3	5.9	△14.3	△14.3	0.0	6.7	△33.3	
資金繰り	12.5	△35.3	△73.3	△29.4	△28.6	△50.0	△42.9	△33.3	0.0	
設 備	△6.2	△11.8	6.7	△5.9	△7.1	13.3	△7.1	△6.7	△6.7	

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	30.0%	提携先を見つける	28.9%
利幅の縮小	30.0%	宣伝・広告を強化する	26.3%
その他	16.7%	経費を節減する	23.7%

主要経済指標

◆ 労働

(時間)

	有効求人倍率 (季節調整値)	実質労働時間	
			うち所定外
1年 10月	1.92	146.5	10.1
1年 11月	1.89	149.4	10.1
1年 12月	1.89	147.7	9.7
2年 1月	1.73	134.4	8.2
2年 2月	1.70	142.8	9.0
2年 3月	1.59	143.2	9.3
2年 4月	1.46	143.8	8.2
2年 5月	1.32	124.7	5.8
2年 6月	1.19	140.0	6.2
2年 7月	1.15	142.0	7.2
2年 8月	1.10	132.0	7.3
2年 9月	1.09	139.5	7.7
2年 10月	1.12	142.8	7.8
2年 11月	1.18	142.4	8.4
2年 12月	1.23	141.9	8.7
3年 1月	1.22	127.9	7.4
3年 2月	1.26	132.8	8.1
3年 3月	1.27	138.8	8.6
3年 4月	1.35	143.7	8.3
3年 5月	1.36	129.2	7.5
3年 6月	1.38	141.4	8.0
3年 7月	1.35	141.5	8.5

資料: 石川県企画開発部統計課

◆ 消費者物価指数

※平成28年より2015年(平成27年)を100としています。

	消費者物価指数	
	総合	前年同月比
1年 10月	103.3	0.4
1年 11月	103.2	0.7
1年 12月	103.1	0.9
2年 1月	103.0	0.9
2年 2月	102.6	0.7
2年 3月	102.7	0.2
2年 4月	102.5	-0.4
2年 5月	102.7	-0.2
2年 6月	102.7	0.3
2年 7月	102.6	0.3
2年 8月	102.6	-0.2
2年 9月	102.2	-0.4
2年 10月	102.6	-0.7
2年 11月	102.2	-1.0
2年 12月	102.0	-1.1
3年 1月	102.6	-0.4
3年 2月	102.5	-0.1
3年 3月	102.8	0.1
3年 4月	102.4	-0.1
3年 5月	102.7	0.0
3年 6月	102.8	0.1
3年 7月	99.8	-0.2
3年 8月	99.9	0.1

資料: 石川県企画開発部統計課

◆ 信用保証

(百万円)

	保証承諾		保証債務	
	件数	金額	件数	金額
2年 1月	223	2,433	13,699	103,526
2年 2月	239	2,216	13,597	102,959
2年 3月	456	5,922	13,470	103,826
2年 4月	819	17,705	13,801	112,928
2年 5月	1,308	24,918	14,410	127,514
2年 6月	2,432	39,481	15,797	158,744
2年 7月	3,047	60,623	17,670	197,906
2年 8月	1,697	31,987	19,261	234,113
2年 9月	995	16,859	20,150	254,510
2年 10月	818	11,511	20,735	266,133
2年 11月	735	10,759	21,137	273,184
2年 12月	913	11,887	21,709	282,686
3年 1月	420	4,714	22,087	287,516
3年 2月	638	10,395	22,292	290,467
3年 3月	1,724	33,452	22,781	300,923
3年 4月	820	15,623	23,341	313,128
3年 5月	245	2,328	23,410	314,911
3年 6月	270	1,983	23,401	314,354
3年 7月	246	1,910	23,385	313,433
3年 8月	264	2,077	23,386	312,444

資料: 石川県信用保証協会

◆ 企業倒産件数

(百万円)

	企業倒産件数	
	件数	金額
1年 12月	3	30
2年 1月	8	1,916
2年 2月	8	910
2年 3月	4	198
2年 4月	5	471
2年 5月	4	1,635
2年 6月	7	644
2年 7月	10	1,210
2年 8月	3	718
2年 9月	3	89
2年 10月	4	367
2年 11月	6	707
2年 12月	6	413
3年 1月	2	170
3年 2月	4	385
3年 3月	4	3,836
3年 4月	6	509
3年 5月	10	724
3年 6月	7	1,360
3年 7月	4	62
3年 8月	3	204

資料: (株)東京商工リサーチ

主要経済指標

◆ 建築着工

(千㎡、百万円)

	建築着工総数		うち住宅着工	
	床面積	工事予定額	戸数(戸)	床面積
1年 9月	100	15,630	598	57
1年 10月	97	17,816	745	66
1年 11月	141	29,300	740	70
1年 12月	98	27,393	552	50
2年 1月	76	13,352	456	44
2年 2月	75	16,474	399	36
2年 3月	194	37,337	605	59
2年 4月	95	18,693	569	56
2年 5月	96	20,476	456	47
2年 6月	118	26,738	647	58
2年 7月	78	15,148	710	57
2年 8月	109	22,003	728	62
2年 9月	72	14,607	531	45
2年 10月	82	15,291	504	50
2年 11月	96	19,358	672	61
2年 12月	80	16,045	590	54
3年 1月	51	12,277	310	31
3年 2月	163	23,961	465	45
3年 3月	103	24,047	567	55
3年 4月	113	21,857	614	58
3年 5月	102	20,202	571	58
3年 6月	118	22,791	718	65
3年 7月	88	16,623	619	60

資料:国土交通省(石川県内)

◆ 公共工事請負金額

(件、百万円)

	件数	請負金額
1年 9月	506	15,203
1年 10月	538	15,128
1年 11月	421	8,984
1年 12月	337	6,335
2年 1月	271	6,562
2年 2月	224	7,833
2年 3月	124	3,595
2年 4月	565	45,139
2年 5月	372	20,575
2年 6月	574	17,880
2年 7月	637	17,721
2年 8月	505	11,694
2年 9月	553	14,120
2年 10月	546	12,814
2年 11月	345	6,843
2年 12月	299	7,262
3年 1月	211	5,262
3年 2月	152	3,599
3年 3月	127	7,066
3年 4月	509	37,997
3年 5月	389	22,743
3年 6月	584	22,503
3年 7月	664	15,495
3年 8月	471	11,897

◆ 新車登録台数

(台)

	普通自動車	軽自動車
1年 9月	3,702	2,183
1年 10月	2,037	1,322
1年 11月	2,618	1,401
1年 12月	2,412	1,201
2年 1月	2,199	1,338
2年 2月	3,132	1,818
2年 3月	4,963	2,601
2年 4月	1,657	941
2年 5月	1,611	713
2年 6月	2,244	1,465
2年 7月	2,649	1,690
2年 8月	1,918	1,383
2年 9月	3,048	1,881
2年 10月	2,661	1,581
2年 11月	2,514	1,640
2年 12月	2,339	1,383
3年 1月	2,250	1,326
3年 2月	2,705	1,740
3年 3月	5,105	3,008
3年 4月	2,245	1,506
3年 5月	2,142	1,287
3年 6月	2,472	1,509
3年 7月	2,837	1,439
3年 8月	2,296	1,193

資料:石川県自動車販売店協会

◆ 温泉地宿泊数

(人)

	和倉温泉	輪島温泉
1年 10月	67,084	15,400
1年 11月	80,191	16,800
1年 12月	67,743	11,200
2年 1月	53,477	8,800
2年 2月	53,368	10,400
2年 3月	33,444	6,600
2年 4月	5,366	1,300
2年 5月	267	2,400
2年 6月	12,897	5,300
2年 7月	46,678	9,800
2年 8月	55,528	13,700
2年 9月	40,084	11,200
2年 10月	52,385	14,300
2年 11月	64,437	16,500
2年 12月	49,849	10,000
3年 1月	10,858	3,600
3年 2月	10,622	4,000
3年 3月	32,937	6,600
3年 4月	23,814	8,300
3年 5月	17,150	7,300
3年 6月	11,290	4,800
3年 7月	35,443	10,700
3年 8月	43,264	10,400

資料:北陸観光協会、和倉温泉観光協会
輪島市観光協会

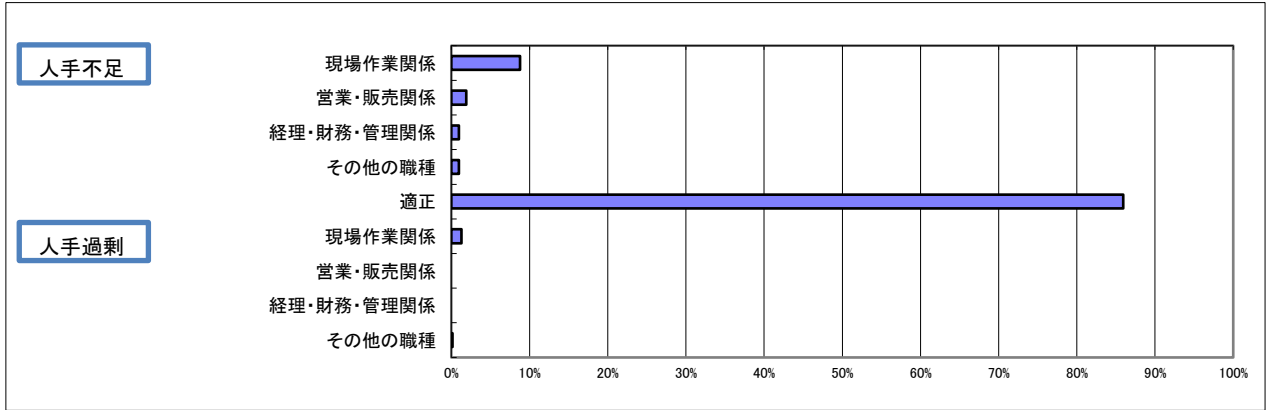
◆ 織物生産高

(千㎡)

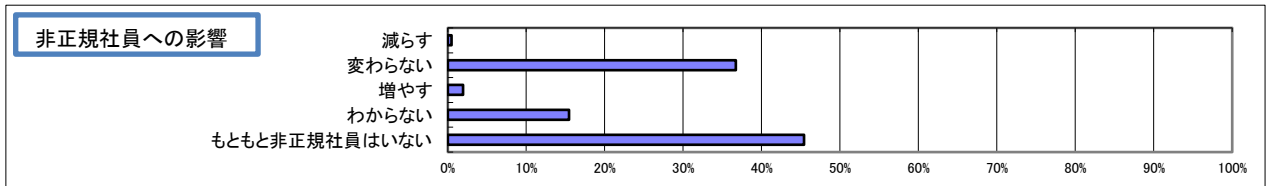
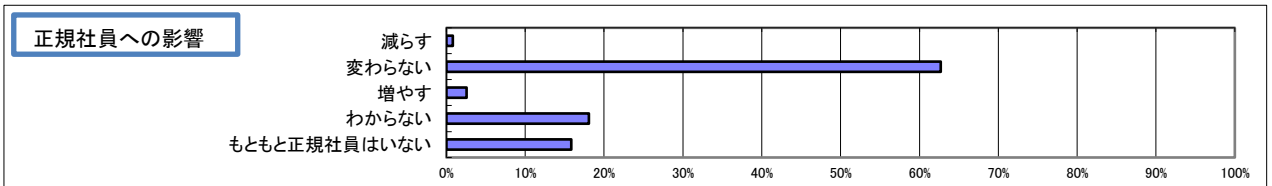
	合計
1年 9月	22,278
1年 10月	24,547
1年 11月	22,574
1年 12月	21,202
2年 1月	19,145
2年 2月	21,066
2年 3月	20,459
2年 4月	19,164
2年 5月	16,954
2年 6月	18,402
2年 7月	17,382
2年 8月	12,208
2年 9月	13,612
2年 10月	15,859
2年 11月	15,282
2年 12月	14,852
3年 1月	15,143
3年 2月	16,191
3年 3月	16,905
3年 4月	17,276
3年 5月	16,199
3年 6月	19,475
3年 7月	19,071

資料:石川県企画開発

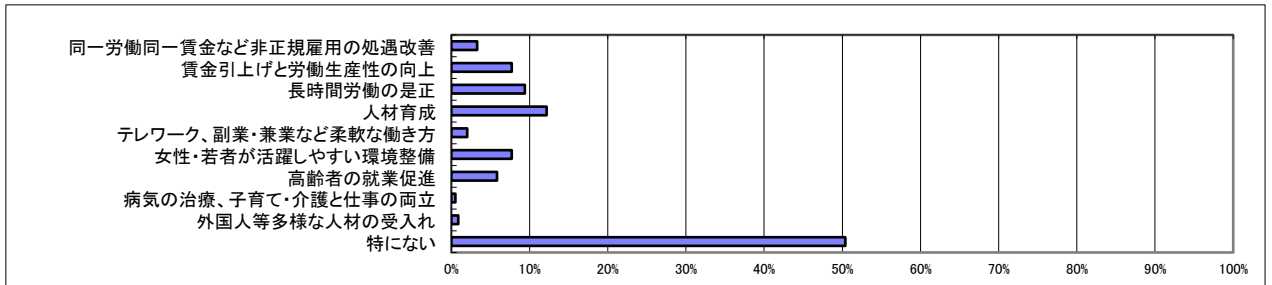
問1. 人手の状況をどのように認識していますか。



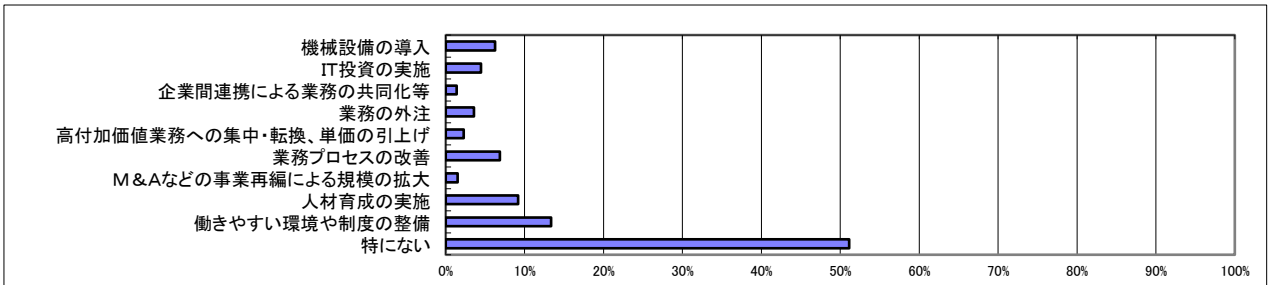
問2. 政府はこれまで、最低賃金を毎年3%程度、引き上げてきました。(2020年を除く)。最低賃金の引き上げが、貴社の雇用に与える影響はありますか。



問3. 人材確保のための職場環境改善へ向けて実施していることはありますか。



問4. 人材確保が難しくなるなか、貴社では、生産性向上に向けた取組みをしていますか。



問5. 人材育成や確保のために、地域金融機関に対して融資以外の点で求めることはありますか。

